

●中学生の感想③

『ふるさとを誇りに』 豊田前中3年 さとうはるみ 佐藤日美



銅について発表しました



また、他の地域のジオパークについても自分の目標にしていたので、積極的に学ぶことができました。

三笠ジオツアーでは、ガイドさんの説明をよく聞いて、豊田前との共通点や違う点を考えることができました。特に三笠とは、「炭鉱で栄えた町」というのが共通していたので、違う点を見つけることによって深く豊田前を考えることができました。ガイドさんの話がとても上手で、「多くの人に伝えたい」という思いが伝わり、感動しました。

この全国大会を機にふるさと美祢を知り、考え、ジオパークについて学ぶことができました。

ジオパーク全国大会を通して、沢山のことを学びました。まず夏休みから始まった美祢市のジオ学習です。小学生の頃からジオ学習は少ししていたので、知っているつもりでしたが、地元の方が協力してくださり、博物館や直接の説明を聞くと知らないことばかりでした。中学校の理科や社会と関係のあるところもあったので、中3という年でジオ学習をするということは有意義なことだなと感じました。

準備の段階で、自分のふるさとに誇りを持つようになりましたが、三笠やポスターセッションの発表でさらにふるさとへの想いが強くなりました。私たちの発表をうなずきながら聞いてくださったり、興味をもって質問をしてくださったからです。自分が住んでいる地域のことを誰かに伝える喜びを知りました。

地球を感じる・遊ぶ感動の旅 ジオツアーへ行こう★

地元農産物のプチお土産付★
美祢旅オリジナルグッズプレゼント★
地元農産物の販売★

カエルとヘビのおまつり！？
溶ける大地に暮らす人々
「江原」見学徒歩ツアー



たくさんの方のご来訪
をお待ちしております

- [出発日] 12月8日(土)
- [旅行代金] 大人・小人共通2,500円(昼食、お土産付)
- [募集人員] 20名(最少催行人員:10名)
- [集合場所] 江原多目的集会所
- [集合時間] 9:20
- [食事] 昼食1回
- [添乗員] 同行します
- [行程]
- 9:20 集合(江原多目的集会所)
- 9:30 歴史や文化の解説
- 10:00 森様秋申し神事随行見学
- 12:00 昼食(文化保存会バザー会場)
- 13:00 散策(ジオガイドがご案内)
- 14:00 解散

★申込み・問合せ先 / (一社) 美祢市観光協会★
TEL : 0837-62-0115 FAX : 0837-62-0899
E-mail : info@akiyoshidai.com



GEO協議会だより

編集 発行 Mine 秋吉台ジオパーク推進協議会事務局

全国大会報告特別号！

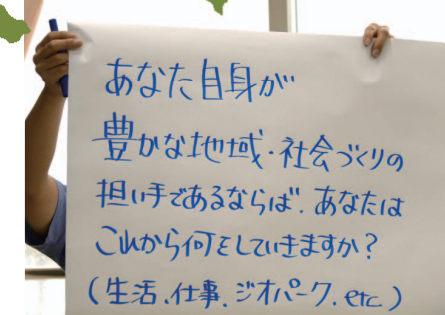
豊田前中学校の生徒が大活躍！

第9回日本ジオパーク全国大会が10月6～8日、北海道様似町の「アポイ岳ジオパーク」で開催されました。Mine 秋吉台ジオパークからも、豊田前中学校の生徒、認定ガイド、事務局職員など16人が参加しました。

大会前に、北海道各地で開催された「1泊2日プレジオツアー」にも参加しました。

大会中にはニコラス・ゾウロス氏(世界ジオパークネットワーク協会会長)の基調講演、パネルディスカッション、分科会など豊富な催しがあり、様々な議論も行われました。

美祢市の中学生の全国大会参加は初めてですが、これからは毎年参加する予定です。初回は、今年度限りで閉校になる豊田前中学校がMine 秋吉台ジオパークについて発表をしました。中学生たちとガイドの報告をお読みください。



プレジオツアーの様子



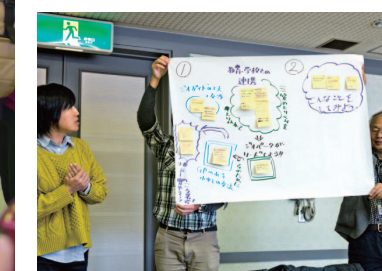
三笠ジオパーク炭鉱遺構



炭鉱遺構でガイドをするスタッフ



豊田前中学校生徒3人によるポスター発表(様似町体育館)



グループワークの発表

『熱意が感動を呼ぶおもてなし』 認定ジオガイド 檜崎知行

プレツアーでは、元産炭地であること、化石が多いことなどMine秋吉台ジオパークとの共通点が多い三笠ジオパークを訪れました。本大会の教育分科会と連携していることも、児童生徒や公民館活動の参加者への話し方で、課題を感じている私の選択の理由でした。アンモナイト化石の収蔵量日本一の三笠市立博物館や、明治以来の採炭遺構など、なかなかないスポットをいくつも見学できました。

展示や説明の仕方など、学んだことは少ないですが、一番印象深かったのは、三笠市の担当者の「説明する側の熱が相手に伝わる」という言葉です。彼自身、あるいは博物館の学芸員の発言には、「自分が感じている面白さを伝えたい」「来ている人を楽しませたい」という熱意がこもっていました。理解できないことも多少ありましたが、彼らの熱意が何よりの「おもてなし」と感じられ、楽しい時間でした。

分科会については、触れる余裕がありませんが二つだけ。総合学習、地域学習の時間だけでなく、理科や社会など関連する科目を含めて、小中9年間で計画的に広く深くジオについて学ぶカリキュラムを、市をあげて作っている地域が複数ありました。また、防災教育を重視し、いざというときに備え、避難者に寄り添う心を育てている地域も注目しました。



Mine 秋吉台ジオパークPRブース

『私たちはなぜ保全するのか』 認定ジオガイド 永井恭子

分科会「保全 - 無形文化財の伝承と活用をジオパークで考える」に参加しました。一日目はまずプチバスツアーに出かけ、海岸沿いの地形をアイヌの伝説とともに巡りました。

後半は座学で、アイヌ文化や日本で先住民と認められるまでの歴史やこれまでとこれからの伝承活動について講義を受けました。衰退していくものを後世に伝え続けることの難しさと、記録を残しておけば途絶えたのちも復活できるという話が心に残りました。

二日目は無形文化財の保全活動の事例発表を聞いた後、各班に分かれて問題定義と解決策についてディスカッションをしました。現代社会に合わないから衰退していく慣習をなぜ保全する必要があるのかという意見にハッとしました。

その土地に根ざした慣習を保全することは当たり前ではなく、まずは知ることによって必要性を自分なりに考えてみるのが大事で、そうすれば自ずと行動に結びついていくのだと気づかされました。



分科会の様子

けんさん 『研鑽』 認定ジオガイド 吉松三男

まず初めに、「KON-SAI (昆(虫)祭・根菜) ジオツアーin白滝」に参加しました。白滝は黒曜石の一大産地であり、その切れ味の良さから、石器の素材としても利用され、人の暮らしに関わりが大きいということをツアーで学びました。黒曜石のナイフ作り体験の他にも、ジャガイモの収穫体験などが行われました。

ジオツアーと連動し、分科会は「人の暮らしとジオを考える」に参加しました。ジオパーク活動のひとつとして、ジオ資源と人のつながりについてどのように伝えるかは、ガイドの重要な役割です。



白滝ジオパークセンターにて

魅力あるジオガイドとは、おもてなしの心は勿論、一方的な説明ではなく、ガイドが投げかけた言葉に反応して参加者が喋るなど、相手の興味をそそる案内となるよう、ガイド自身が研鑽を重ねる重要性を痛感しました。

●中学生の感想①

『みんなでやり遂げた瞬間』 豊田前中 3年大田乃依

夏休みくらいから準備を始めて、初めは北海道に行って発表することは全然実感がわかなかったけれど、準備を進めていくうちに、どんどん現実になっていきました。準備でも沢山の人の助けをもらい、皆で協力して少しでもわかりやすいようにがんばりました。



石炭(無煙炭)について発表しました

ポスターセッションや、三笠での発表は緊張したけれど、見て下さった人達が「よかったよ」、「細かい説明で疑問がないくらい」と言ってくださってとてもうれしかったです。やったかいたったと思えた瞬間でした。

他の人のポスターも見てまわって、新潟の小学生の発表が印象的でした。

今回のジオパーク全国大会は未知の部分も多く、初めは不安でしたが、一緒にツアーに行った方も周りの方もとても優しく、だんだんリラックスしていったので良かったです。ポスターセッションも発表もうまくできましたと思いますし、この6日間とても充実していました。とても楽しかったです。

明日からまた学校なので、体調を崩さないようにがんばろうと思います。

●中学生の感想②

『遠くても身近なもの』 豊田前中3年 小林由布奈

今回は、ジオパーク大会に参加する前に、三笠のプレジオツアーに参加しました。石炭の地層や、時空をまたげる場所を見ることができました。私たちが発表した後には、他の地域のジオパークの方から感想やアドバイスをもらえ、発表を通して美祿市に興味をもってもらえてすごく嬉しかったです。

ツアー二日目では、実際にダムや採石場を見学することができ、なかなか見られないものをたくさん見れて良かったです。

四日目からはジオパーク全国大会が始まりました。最初は、来た人に自然に呼びかけたり問いかけたりするのが難しく緊張していたけれど慣れてくると声の大きさやよくように工夫して、聞いている人に伝えるということ意識できました。全国各地から来た人に自分の地域について知ってもらえ、特に最後のジオパーク学習を通して感じたことの発表のときにうなずきながら聞いてもらえたのですごく嬉しかったです。

私は今回ジオパークに関わる前までは、ジオパークに対して専門的で難しいというイメージがあり、ジオパークに携わっていない人の生活にはあまり身近でないものだと思っていました。



石灰岩について発表しました

でも、今回ジオツアーや大会に参加して、全国各地からたくさんの方が集まって、これからのジオパークを良くしていくために意見を交換し合い、工夫して活動していることを知りました。ジオパークに直接携わっていない人でも、自分の地域の特徴を知り、ジオパークのおもしろさを感じられるようになってほしいです。

